

平成 15 年 12 月 12 日承認

岩盤の熱環境に関する研究小委員会 平成 15 年度第 1 回委員会 議事録

1. 日 時 平成 15 年 9 月 2 日 (火) 15:00 ~ 17:00

2. 場 所 土木学会 F 会議室

3. 出席者 稲田善紀, 稲葉武史, 上田貴夫, 勝山邦久, 亀谷裕志, 木下直人, 甲村雄一,
中川加明一郎, 新田昭, 山辺正, 木下尚樹

以上 11 名(順不同, 敬称略)

4. 配付資料

- ・平成 14 年度第 2 回委員会 (2003.3.28) 議事録 (案)
- ・第 3 回物性 WG (2003.5.6) 議事録 (案)
- ・第 4 回物性 WG (2003.7.30) 議事録 (案)
- ・第 3 回解析 WG (2003.8.28) 議事録 (案)
- ・委員会活動計画 (案)
- ・出版企画書
- ・平成 16 年度出版企画今後の手続き

5. 議 事

(1)平成 14 年度第 2 回委員会 議事録の確認

平成 14 年度第 2 回委員会 (2003.3.28) の議事録 (案) が原案通り承認された .

(2)物性 WG 活動状況について

物性 WG 主査の稲葉幹事より ,第 3 回 WG(2003.5.9) ,第 3 回 WG(2003.7.30) ,第 5 回 WG(2003.9.2) および WG の活動状況について報告がなされた . データベースの基となる文献数は約 500 編 , まとめる内容は文献総括表 , 熱物性をまとめた報告書 (文章) , 公開データベースおよび非公開データベース (デジタルデータ+デジタルデータ) であること , データベースに取り込む試験方法 , 対象物性などが報告された . また , データベース化の作業量は時間的には可能な範囲であることも報告された .

データベースは可能な限り公開できるよう WG で検討することとなった . 物性 WG と解析 WG でそれぞれ収集している文献が重複している場合でも各 WG で別々の文献番号とすることとなった .

(3)解析 WG 活動状況について

解析 WG の新田委員より第 3 回 WG (2003.8.29) および WG の活動状況について報告がなされた . 対象となる主要文献数は約 100 編でこれらを基に分類・評価を行う . 分類・評価方法としては各プロジェクト(構造物)の設置深度 , 温度範囲 , 貯蔵圧力 , 地質条件を示し , それぞれのプロジェクトにおいて使用される解析手法を目的 , 特徴 , 適用範囲で評価する . また , 連成に着目した評価も行うことなどが報告された .

(4)岩盤力学委員会報告

稲田委員長より平成 14 年度第 2 回岩盤力学委員会の報告があった。

内容は以下の通り。委員および顧問に定年制が導入される。平成 15 年-16 年委員会の委員が承認された。小委員会の活動計画の報告があり、本研究小委員会では 1 年間の会期延長と岩盤力学に関するシンポジウム（2005.1）で 1 セッション使わせてもらうことなどを申請した。委員会の活動に応じた予算の適性配分を行うため、活動度の評価方法について資料が出されて調査が行われ、16 年度予算配分の基礎資料となる。

(5)委員会スケジュールについて

1 年間会期を延長し、平成 17 年 5 月末を委員会活動終了とする原案が承認された。今後は企画小委員会に会期延長の手続きを行うこととなった。

平成 17 年 1 月開催予定の岩盤力学に関するシンポジウムで 1 セッション設けることが承認された。今後は担当の論文小委員会と事務手続きを行うこととなった。

成果報告書は土木学会の出版物（平成 17 年度以降出版）とすることを念頭にまとめることとなり、まず出版に関する調査を行うこととなった。

(6)予算の使途について

本年度の予算は昨年度と同様 30 万円である。予算の使途について当初（昨年度）は旅費で約半分、委員会費用（昼食費）で約半分としていたが、委員会費用が約 20%程度と見積もられるため、残りを旅費とし、増額することが承認された。

(7)その他

次回委員会は平成 15 年 12 月 12 日（金）15：00 から土木学会 F 会議室で行う。当日は 12：00 から会議室を確保しているので、WG 等で使用する。委員会終了後は交流会を予定。

以 上